

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ゼン・ムドラ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.051	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：ゼン・ムドラ**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

**比較対照ボール：ゼン・アシュラ**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工

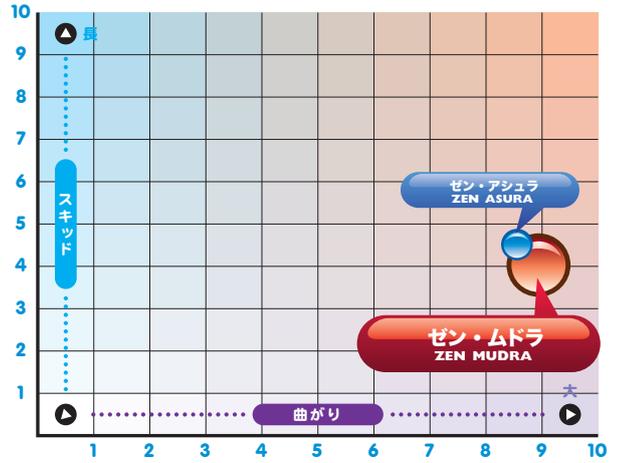
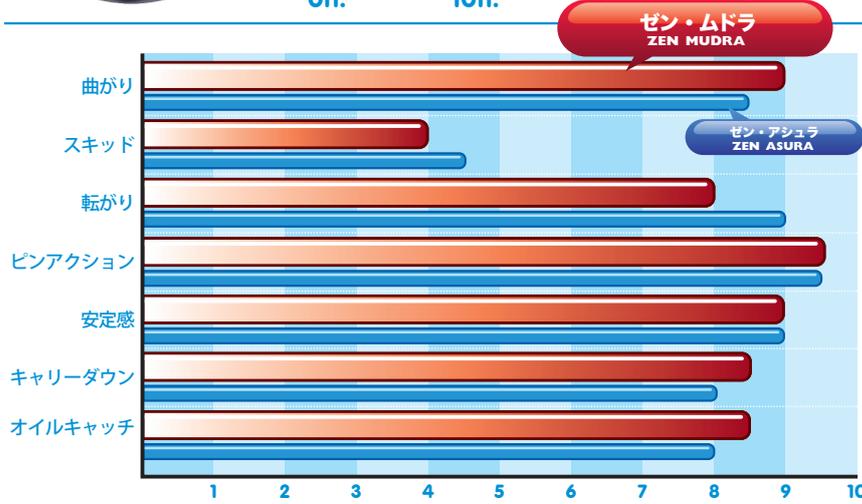
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

初代ZENから始まったシリーズは各々コンセプトを持ち発売されてきました。Pearl素材は走りを基調とし、Hybridはキャッチと曲がりのバランスをメインにして、Solidはキャッチと曲がりの安定感を求めてきました。今回のZEN MUDRAはSolid素材ですがポリッシュ加工を施すことで、スキッドの中の安定感とバックエンドの扱いやすさ、様々なコンディションへの対応力の高さをコンセプトに発売されます。

私は初投げで300点をマークしましたが、リアクションの挙動が最小限に収まっており、軌道の読みやすさと扱いやすさ、柔らかいピンとの絡みが非常に気に入っています。PearlのZENと比べるとバックエンドの鋭さは見劣りするのですが、Midからの動き出しとドライゾーンに触れたときの反応の仕方が暴れずにそれでいてしっかりと曲がりますし、ポケットまでの軌道が読みやすくアジャストしやすい性能が前面に出ています。ZEN MUDRAはどちらかというとオイリー用のボールからのボールチェンジ後に投げやすいのではないかと思います。ラインが割れたときに反応の良いボールはドライゾーンに触れると俊敏に向きが変わろうとしますが、ZEN MUDRAは反応は良いものの、オーバーリアクションしないまとまった収まる曲がりを行います。そのことで余計にオイルを使い中からのアジャストを必要としないので、ストライクに必要な角度も付けやすく、急激なライン変化も感じにくく思いました。Solid素材でありながら緩慢な曲がりの印象は前面に出ず、絶妙に暴れないけれどしっかりと曲がる印象があるので、オールマイティなコンディションで対応可能なボールを探している方はまず候補に挙がるボールと言えるでしょう。

### 特記事項

**Solidのポリッシュ仕上げで走り具合と掴み具合、バックエンドの反応の良さまでをトータルで評価すると、未だかつてSolid素材でこれほどのボールはなかったと正直思うほど良い仕上がります。**